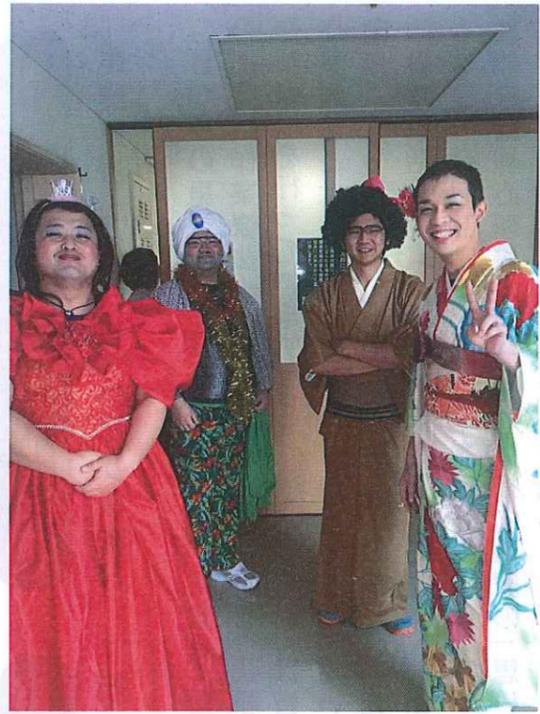


瑞雲荘

紅白歌合戦

大晦日と言えば「紅白歌合戦」ですが、瑞雲荘でも毎年恒例となる歌合戦を12/30に行いました。男性職員扮する女性歌手と、女性職員扮する男性歌手、それと利用者の皆様で紅白に分かれ、それぞれ自慢のものを披露しました。今年もトリは野上介護主任扮する青江三奈の「伊勢佐木町ブルース」です。ちょっと太めの青江三奈の登場に利用者様方も大爆笑されており、その歌の合間に「うんっ」「はぁ・・・」というため息が大興奮されていました。紅も白も甲乙つけがたい歌の内容でしたが、見た目のインパクトが勝負を分け、紅組が勝利しました。今年も年末に行いますので楽しみにしておいでください。



訪問看護通信

きつき訪問看護フレイション

寒暖差アレルギーご存知ですか？
気温差が激しい時期に注意したい寒暖差アレルギーについてお話したいと思います。
これは大きな温度差による刺激が変化することが原因で鼻の粘膜が刺激され咳やくしゃみ、鼻づまりや鼻水等アレルギー性鼻炎のような症状を起してしまうことをいいます。特に女性は男性に比べ、筋肉量が少ないため、体内で熱を作り出す力も弱いため温度差に上手く対応できない為に発生しやすいです。自立神経が対応できず温度差は約7度前後と言われており、それ以上の差になると、症状として鼻づまり、鼻水、食欲不振、睡眠不足、疲れやすい、イライラするなど自立神経の乱れから、鼻のみではなく、全身による症状が現れます。基本的には特効薬というものは存在しません。対策としてはマスクを着用し、鼻やのどが温度差を感じないようにする。上着を着脱し体温を調節する。寒暖差アレルギーの症状がある場合、耳鼻科受診をお勧めします。対策をせずに、症状が悪化すると、喘息になってしまうので侮るの危険です。
今宮

2月の福祉サービス相談委員巡回は2月20日(土)の10時より特別養護老人ホーム瑞雲荘にて小野相談員が行います。
※事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も社会福祉法人ひまわり並びに広報誌ひまわりをよろしく願いました。さて安倍政権は「1億総活躍社会」を目指して「新3本の矢」を打ちました。中でも第3の矢「安心につながる社会保障(介護離職ゼロ)」は社会福祉法人にも大きくかわる施策です。ここ数年、内部留保の問題等で批判的な見方をされてきた社会福祉法人ですが、今後は特に高齢者福祉の分野で注目されるでしょう。社会福祉法人が総活躍をするのを期待されているわけです。「介護離職ゼロ」は伝わりにくく誤解されている方が居られるようなので少し説明すると「介護離職ゼロ」とは介護職員の離職を防ぐ事ではなく、介護を行う為に仕事を止めざるを得ない人をゼロにするという意味合いです。まさに「介護離職ゼロ無くして第1の矢「希望を生み出す強い経済」や第2の矢の「夢をつむぐ子育て支援」は達成できない訳です。「身近な方が要介護状態になっても仕事を止めずに安心して利用できる介護サービスの提供が社会福祉法人に期待されるわけです。また、社会福祉法人も改定される予定です。これも改正点が3つに分けられます。一つ目は「組織のガバナンス強化」。二つ目は「財務諸表の公開等の事業運営の透明性向上」。三つ目は「公益事業の地域展開の責務の明確化」です。特に注目すべきは三つ目です。厚生労働省は「社会福祉法人は、財政上の優遇措置を受ける背景として、慈善的な福祉サービスや低所得者への福祉を提供し、地域のセーフティネットとして機能することが期待されている。しかしながら、これらのサービスを提供している社会福祉法人は必ずしも多くなく、財政上の優遇措置の根拠が乏しい実態がみられる。介護保険事業などにおいて株式会社等と同様のサービスを提供する社会福祉法人においては、同じ競争条件のもとで、利用者のためのサービス提供がなされるよう、条件整備を行う必要がある。」とし、すべての社会福祉法人に対して、社会貢献活動(生計困難者に対する無料・低額の福祉サービスの提供、生活保護世帯の子どもへの教育支援、高齢者の生活支援、人材育成事業など)の実施を義務付ける。」と報告しています。今後も社会福祉法人としての有り方を見直し、高齢になっても安心して暮らせる杵築市の実現に向けて精進してまいります。
高尾

社会福祉法人ひまわり理念
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく気持ちの良い態度で接します
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

ここにひまわりを...
広報誌 第105号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索

0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

年頭のご挨拶



社会福祉法人
ひまわり
理事長
衛藤道生

あけましておめでとう御座います。
今年是一段と忙しくなりそうです。春には小規模老人保健施設「梅桃(ゆすら)」が完成し、一層「医療」と「介護」の連携を深めてまいります。また、瑞雲荘も着々と建替えの準備を粛々と進めてきました。が県の視察や審査の結果として耐震強度も問題なく、また施設内外もきれいにしている為、建替えの必要なことの返事があり建替える事は叶いませんでした。しかし低所得であっても利用できる現在の瑞雲荘が残る事は地域の高齢者にとって良かったと思えます。
今年も我々医療法人大会と社会福祉法人ひまわりは「医療」と「介護」のプロフェッショナルとして市民の皆様安心して利用して頂けるサービスを提供する事を年頭に約束します。



社会福祉法人
ひまわり
統括施設長
真田康徳

新年あけましておめでとうございます。昨年より、杵築市在宅医療介護連携推進協議会が発足され、行政、医師会、市内の介護事業所が連携協力し、高度な介護予防、自立支援の取り組みを行います。この協議会は大分県はもとより全国的にも注目されており、社会福祉法人ひまわりとしても今年の大きな取り組みの一つとなっております。今年も何卒よろしくお願いたします。



ひまわりハウス
施設長
佐々木靖子

新年明けましておめでとうございます。今年でひまわりハウスは三年目に入ります。さらに地域の皆様の期待に応えるべくこの春、ひまわりハウスに訪問看護の機能が加わり「看護小規模多機能居宅介護施設ひまわりハウス」と名称が変わります。今後さらに医療ニーズの高い方にも対応できる施設として医療、介護の連携を大切に利用者様と向き合っていきます。



三楽園テイサービス
所長 永松孝二

明けましておめでとうございます。
戦後70年を過ぎ、何もかも改革されている今の政治、本当に戦争に巻き込まれないのか？良き年になる様、祈りながら過す不安な一年になりそうです。戦争の大変さを体験している80才以上の人達に二度と味合せてはいけないと思います。
平穏な一年であってほしいと願っています。



瑞雲荘
施設長
利光和彦

新年あけましておめでとうございます。
気持ち新たに、利用者様に笑顔で安心して普段通りの生活ができるサービスを目指して今年も頑張っていきます。
そして、今年も家族会・地域の皆様方の温かいご支援とご協力を併せてお願いいたします。

各事業所の目標・抱負

本年もよろしくお願いいたします



総合ケアセンターひまわり
所長 常廣 美代子

明けましておめでとうございます。昨年12月から週2回作業療法士を招き、利用者様への認知症予防トレーニングに取り組んでいます。今年も利用者様が気持ち良く利用できるように各部署と連携を密にし、利用者様に居心地の良い施設として喜んで頂けるように職員一同力を合わせて行きたいと思っております。今年も宜しくお願い致します。



きつきの里デイサービス
主任 伊東 周子

新年明けましておめでとうございます。昨年は介護保険制度の改正がありました。利用者様の皆様にご理解とご協力を頂いて無事きつきの里デイサービスセンターも運営を継続する事が出来ました。今後も利用者様が在宅で安心して生活できる様にお手伝いが出来たらと思います。何より皆様笑顔で楽しく過ごしていただければ職員一同努めてまいります。



訪問看護ステーション
主任 井門 香代

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は天気も良く暖かかったですね。初日の出を拝まれた方、ゆっくりと寝正月の方、いろいろな過ごし方をされたでしょう。もちろんわたしたちの中には利用者様の為、勤務の方もいました。ひまわりハウスに移り、4月から看護介護小規模多機能型居宅介護施設のスタートです。日々自己研鑽し、医療介護の連携に努めて行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



ヘルプステーション
久土 信子

新年明けましておめでとうございます。昨年四月より開始した総合支援事業の実施については、ご利用者様にはご理解を頂きながら、今年も引き続き利用者様方の自立を目指しお手伝いさせて頂ければと思っております。そして、生活に密接したサービスを行い、生活機能の低下防止をし、在宅でより生き生きとした日々が過ごせるように、スタッフも笑顔でたやぶさず、精一杯頑張っておりますので、本年もよろしくお願い致します。



杵築市在宅介護支援センター
相談員 佐藤 弘樹

明けましておめでとうございます。在宅介護支援センターは、杵築市から委託を受けて地域を訪問し、高齢者の方から健康状態、日常生活における困り事などの話を聞かせて頂き、社会保障制度や、杵築市で行われている高齢者福祉事業等の紹介を行っています。必要に応じて地域包括支援センターと連携し、皆様にとって身近な存在となれるように、「思いやり、笑顔、フットワーク(O・E・E)」を念頭に置いて、活動していきます。



きつきケアプラン
ステーション
主任 菅 正子

新年、おめでとうございます。今冬は暖かく、感染症の流行も聞かないので過ごしやすいですね。介護保険制度周辺では「健康寿命」を延ばす為の選択肢も増えたと聞かれています。力不足では有りますが皆様一人一人の状況に沿った支援が出来る様に、部署職員一緒に知恵を出し合い今年も頑張っていきます。

きつきの里デイサービス

作業療法士によるリハビリ指導

きつきの里デイサービスでは月曜、木曜の週2回作業療法士の草野香奈さんによる作業療法を行っています。作業療法とは、食事や排泄などの日常生活動作(ADL)や、調理や掃除などの手段的日常生活動作(IADL)、そして趣味や交流、余暇活動などの作業を通じて身体機能や精神心理機能の改善を目指す治療のことです。私たちの生活を振り返ると様々な作業の組み合わせによって成り立っていると気付きます。作業療法を通じて、「身体だけでなく、心も元気に！」をモットーに、いつまでも自分らしく元気で過ごせるお手伝いができるように努めていきます。と思います。こんなことをしてみたい！こんなことに困っている！など何でも声を掛けて下さいー！



三楽園デイサービス

初詣

新しい年を迎え4日から9日まで初詣に出掛けました。やはりお参りするというのは皆様にとって特別なようで心待ちにされていらっしやいました。「元気であります様に」「何事もありません様に」「ひ孫が生まれます様に」手を合わせられて深々とお参りするお姿に思いの強さを感じました。また今年も畑仕事が出来たい、手芸をしたい等の思いも聞かれ私たち職員も皆様に負けないように、また皆様の笑顔がたくさん見られるようにがんばらねばと気持ちを引き締まる思いでした。今年もよろしくお願ひします。



ひまわりハウス

初詣

1月8日に若宮神社に初詣に出かけました。皆様、この日を楽しみにされておりました。「お賽銭に入れるお金はしっかり持つとるでえ〜」「何時から行くんかえ」と口々に言われていました。皆様にどんなお願いをされましたかと聞くと「今年も健康で過ごせるように祈ったんじゃ」「家族含めみんなが健康でいられたらそれが一番やな！」と答えてくださいました。また、後日、利用者の方々に今年の抱負を聞くと「天災や災害なく無事に今年も過ごせるように」「自分の足で歩けるようになること」と皆様それぞれが思っていることを話してくださいました。2016年も皆様にとって良い年になるように職員も日々努力を怠らぬように精進していきます！皆様、今年もよろしくお願ひいたします。

